

JMoF実行委員会 活動報告書

2022年7月～2023年6月

1. 活動の成果

2023年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響がある社会情勢は継続していたものの、イベント開催制限は緩和されており、独自の感染防止対策に関する規約・方針の下、4日間の会期で開催した。マスク着用や検温の実施は継続した一方で、Dead Dog PartyやJMoF Rock Fesなど大型の企画を開催し、会場参加者は1423人(スタッフ、ゲスト含む)となった。上述の感染防止対策により、JMoF 2023はCOVID-19によるクラスター発生はなく、盛況のうちに無事終了した。

また前年導入した参加形態である「SHOGUN」に代わる参加枠としての「TIME TRAVELER」の増加や、JMoF実行委員会活動への寄付、予算管理の精緻化による支出の圧縮、想定を超える参加者数の増加といった要因により、収入が支出を大幅に上回った。

豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)への寄付額は過去最高の2,206,750円を記録した。

2. 財産および損益の状況

(1) 貸借対照表

貸借対照表			
流動資産	12,976,233	流動負債	2,713,600
		純資産	10,262,633
資産合計	12,976,233	負債・純資産合計	12,976,233

(2) 損益計算書

損益計算書		
売上高	33,112,076	
売上原価・販管費及び一般管理費	22,976,585	
	営業利益金額	10,135,491
営業外収益	100,084	
	経常利益金額	10,235,575
	税引前当期純利益金額	10,235,575
	法人税、住民税及び事業税	2,713,600
	当期純利益金額	7,521,975

3. 今後の方針

令和5年1月27日に変更された「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」によりスポーツやライブイベントでの声出しが事実上解禁され、3月13日よりマスク着用が個人の主体的な選択を尊重し個人の判断が基本となり、5月8日よりCOVID-19の感染症法上の区分が2類から5類へと変更となった。これらのことからCOVID-19によるイベントの開催制限は大幅に緩和されたと考えられ、JMoF 2024は予定通り3日間開催される見込みである。一方で、COVID-19の再流行、インフルエンザやノロウイルス感染症など、イベント開催に伴う感染症のリスクは依然として懸念すべき事項であり、感染症対策については検討を続ける。

これまで感染防止対策に伴う開催費用の増加に対し、参加費の値上げや「SHOGUN」「TIME TRAVELER」参加枠の導入などを実施してきた。JMoF 2024は感染防止対策費用の減額が見込めるものの、原油高の影響による会場費の増加や参加者数増加に伴う警備負担などの影響を鑑みて、収入と支出の双方の見直しを継続し、営利を主目的としない範囲において、安定した運営を長期に維持する。

COVID-19によるイベント開催の危機をようやく脱出し、ケモノ文化を取り巻く環境は大きく変化しようとしているが、これまで継続してきたケモノ文化の発展に貢献することを目的として、ポストコロナのファーリーコンベンションのあり方を模索していきたい。

以上